

# 倶楽部 G 30による地域美化活動

ノーマライゼーションの考え方で、障害福祉施設が地域に必要な施設として受け入れられるようにするために、地域の中で積極的に活動している。その一環として、地域の資源ともネットワークを持ち、週に一度のごみ拾い活動、公園プランター管理などを通じた地域貢献活動を行っている。

神奈川県

社会福祉法人

光友会

〒252-8586 神奈川県藤沢市瀬郷1008-1

TEL: 0466-48-1500 FAX: 0466-48-5113

## ○法人設立年/昭和55年

## ○法人実施事業

- ①経営施設数合計：16施設
- ②経営施設・事業【種別毎の数】：  
重度障害者支援施設…1、障害者ケアセンター…1、  
障害者相談センター…1、障害者福祉ホーム…1、  
グループホーム・ケアホーム…2、障害者就労支援  
施設…5、知的障害者通所更生施設…1、知的障害  
児通園施設…1、障害者スポーツ施設…1、在宅障  
害児者支援施設…1、地域交流ホーム…1

## ○法人の理念・経営方針

・理念：障害のある人が一般市民と同様にあたりまえの生活が営めるように支援する。

・経営方針：

- ①福祉施設にありがちな「隔離と管理」から脱皮するため職員、利用者、地域住民の意識改革に努めるとともに地域福祉の核機能を果たす。
- ②障害者への差別と偏見を除去し、障害者の学習権・労働権・生活権を保障する。
- ③「平和は福祉の基礎」「福祉は平和のシンボル」であることを身近なところから裏付けし、これを支える福祉運動を推し進めてゆく。
- ④障害のある人の幼少青壮老（いわゆるゆりかごから墓場まで）の福祉ランドとしての支援を目指していく。

## ○取り組みの法人での位置づけ等

地域福祉の核機能及び障害福祉拠点施設機能を果たしていくための地域貢献事業の位置づけをしている。

## ○取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

いそご地域活動ホームいぶき

【施設種別及び利用定員】

在宅障害児者多機能支援施設（相談、日中活動、ショート・一時ケア等8サービス・事業）

定員：63（日中活動50、ショート4・一時ケア9）

## ○活動内容

◇活動開始年：

①倶楽部 G 30：平成19年10月

②新杉田公園メインプランター管理：平成20年11月

◇活動の対象者：

・施設日中活動利用者

◇活動の頻度・時間：

①倶楽部 G 30：毎週木曜日の昼休みの中の約45分

②新杉田公園メインプランター管理：月2回～4回、1回1時間程度

## 活動実施の背景、実施にいたった理由

### ①倶楽部 G 30

日中活動利用者で、昼休みの支援も必要な方の過ごし方が課題になっていた。日頃から目指していた「地域に頼られる施設に」のキーワードから、担当部署において、利用者の方のやりがいにもなり、地域にも貢献できるものとして、施設周辺のごみ拾い活動が提案された。実現に向け検討し、毎週木曜日に実施することとした。活動名も横浜市のごみ減量作戦「横浜 G 30」に準じ「倶楽部 G 30」とし、毎回約7～10名の希望者が参加し、定例のごみ拾い活動をするようになった。

### ②新杉田公園プランター管理

施設隣りの新杉田公園は、「倶楽部 G 30」で拾ったごみの集荷場所としての協力者になっていただいていた。そのような繋がりから、いぶきの日中活動で、当公園の3台のメインプランターの草花管理の依頼があった。この依頼を受け、月2～4回日中活動の作業プログラムに組み入れ、「公園プランター管理」をするようになった。《このプランターはいそご地域活動ホームいぶきが管理しています。》との表示もされている。

## 実施内容

### ①倶楽部 G 30

毎週木曜日の昼食後12:30～13:15頃に、日中活動利用者（45名前後）の中から、希望者10名前後が活動に参加している。職員1～2名の引率で、施設から200～300mの周辺の歩道や公園のごみ拾いをしている。最も昼休みの支援が必要だった利用者の方を、倶楽部 G 30部長として、この活動のリーダーとしている。ビニール手袋、炭ばさみ、ほうき、ビニール袋を持参し出かける。集めたゴミは、施設隣りの新杉田公園の協力により、公園のごみ集荷所に分別して捨てている。

### ②新杉田公園プランター管理

新杉田公園は、野球場、テニス場、自由広場からなり、指定管理業者が運営管理している横浜市の公園である。管理棟

のあるメインの場所にかなり大きめのプランターがあり、季節により種々の草花を植え替えるものになっている。このプランターの水やり、除草、植え替えを、公園管理者の指導も受けながら、日中活動の1グループ（15名前後）のプログラムとして行っている。

## 活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

### ①利用者

周囲から喜ばれることをやっていると感じながら生き生きと活動して、明るい施設環境をつくり出している。特に、昼休みの過ごし方が最も課題であった利用者の方（自閉症の障害）には、リーダーの役割も与えていることが、一層やる気にも結びついているようである。

### ②職員

日頃から目指している「利用者の方への効果的な支援」「地域に受入れられる施設に」を具体的な形で表すことができることに達成感を感じ、職場の活性化に貢献している。

### ③地域の反応・影響

当初は施設のみでの活動であったが、回を重ねるにつれて地域から認められ、協力も得られるようになってきている。清掃活動以外に街へ出る施設活動も、好感を持って迎えられようになっている。また、地域での行事にも声がかかるなど、施設の存在が認められるようになってきている。

## 今後の課題及び展開

利用者の支援のあり方に十分配慮し、支援に有用であることを押さえ、活動の充実を図っていききたい。昼休みの空き時間の対策で始めたものだが、利用者の方にも効果的な活動になっているので、今後は就労活動にもつなげる活かし方も考えていきたい。

今後は、区の地域福祉保健計画が進めている地域貢献活動に位置づけて、地域の中で公認された活動として行っていくようにしていきたい。

## 主な経費や財源及び人員等

（年間あたり）

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
いぶきG30活動費	約10,000円	支援法報酬	約10,000円
メインプランター管理活動費	—円		—円
<合計>	約10,000円	<合計>	約10,000円

\* 金額は20年度のおおむねの実績額  
 ・取り組みに係わった職員数 約10名  
 （職種等：介護指導職）

